

## 平成30年度 仙台市中学校長会活動方針

今日、我が国では、少子高齢化及び国際化、高度情報化などによる諸課題に対応するとともに、真に豊かで活力ある社会の実現を目指して、様々な改革が進められている。このような中、我が国の教育には、豊かな人間性と創造性を育むとともに、国際社会に貢献できる国民の育成が求められている。

私たち校長は、中学校教育に課せられた責務と市民の期待を深く認識し、全日中教育ビジョン『学校からの教育改革』の理念を踏まえ、本市の教育の振興に関する施策の大綱及び第2期仙台市教育振興基本計画に基づく「仙台ならではの」学校づくりを推進しなければならない。また、東日本大震災から7年が経過したことから、「復興」から「新生」への取組を全力で果たさなければならない。

仙台市中学校長会は、校長としてのこれらの職責を自覚し、本市中学校教育のさらなる充実・振興を目指して、本会会則及び次の重点項目に基づき本会の運営に当たる。

- 1 校長会の機能を一層充実させ、活動の活性化に努める。
  - (1) 校長相互の連絡・情報交換、及び連携の強化
  - (2) 学校経営能力向上のための研究協議及び研修の充実
  - (3) 宮城県中学校長会及び宮城県・仙台市小学校、公立・私立高等学校の校長会との連携の強化
  - (4) 行政や関係諸機関との連絡・調整及びそれらへの積極的な提言
  - (5) 各部における諸活動の積極的な展開
  - (6) 市民・保護者への積極的な情報発信
  
- 2 学習指導要領に基づき、創意ある教育課程を編成・実施し、生きる力を育む教育の推進に努める。
  - (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力等の応用力の育成並びに学習意欲の向上を図る指導と評価の工夫
  - (2) 問題解決能力、創造力を育てる指導の工夫
  - (3) 豊かな心と健やかな体を育む指導の工夫
  
- 3 教育の振興に関する施策の大綱及び第2期仙台市教育振興基本計画に基づき、子どもたちの可能性を広げる教育を推進する。
  - (1) 学びの連携や協働型学校評価の推進などによる「地域とともに歩む学校」づくり
  - (2) 仙台市標準学力検査や生活・学習状況調査などを活用した確かな学力の育成
  - (3) 芸術・自然体験活動や内面に根ざした道徳教育の推進による豊かな心の育成
  - (4) 体力・運動能力向上の取組や食に関する指導などによる健やかな体の育成
  - (5) 社会的・職業的自立を目指した「仙台自分づくり教育」の推進
  - (6) 障害のある生徒一人一人の教育的ニーズを把握した特別支援教育の推進
  
- 4 当面する教育課題の解決に努める。
  - (1) 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめを許さない学校体制といじめの早期発見の確立
  - (2) 不登校の未然防止と支援体制の強化
  - (3) 豊かな心の育成を中核とする生徒指導の推進
  - (4) OJTをはじめとした校内研修や学校職員評価などによる教職員の力量の向上
  - (5) 安全・安心な学校づくりを目指しての家庭及び地域との連携の強化
  - (6) 防災意識の高揚と防災教育・防災体制の一層の充実

- (7) 震災による心のケアの継続，及びボランティア精神の育成
- (8) 学校業務の見直しや校務処理の改善・効率化などによる教職員が子どもに向き合える体制づくり
- (9) 学校職員の不祥事根絶を目指したスクールコンプライアンス校内研修の強化

5 多様な教育活動を推進するため，教育諸条件の整備・充実を期する。

- (1) 教職員定数の改善，及び主幹教諭の定数外配置と配置拡大
- (2) 免許外教科担任の解消や少人数指導の充実及び特別支援教育充実のための非常勤講師等の拡充
- (3) 教職員の人材育成及び特色ある学校づくりのためのシステムの構築
- (4) 施設・設備の充実と教材備品の整備
- (5) 地域とともに歩み，特色ある学校づくりのための条件整備に関する校長裁量の拡大と教育振興費の増額

6 県費負担教職員の給与等の移譲による，勤務条件等の整備と待遇改善の一層の充実を期する。

- (1) 「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持
- (2) 諸手当を含む給与体系の改善
- (3) 退職後の生活設計に関する体制の整備・改善・拡充